

「市の鳥」の指定に係る案

雲南市の鳥の制定

コウノトリを雲南市の鳥として指定します

【指定の理由】

コウノトリは、平成 29 年（2017 年）から雲南市で営巣を始めました。これは、田んぼをはじめとする里地里山や河川などに多様な生きものが数多く生息する豊かな自然環境があったことが要因の一つと考えられています。特別天然記念物であり希少性の高い鳥ですが、雲南市への飛来数も年々増えてきており、自然の中で目撃することもできます。

最初の営巣から今年で 10 年連続となる見込みで、複数個所・複数エリアでの営巣が確認され、今後とも安定的かつ継続的な営巣が期待できる状況にあります。

雲南市では、「“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョン・アクションプラン」を策定し、コウノトリが継続的に営巣できる豊かな自然環境づくりと、コウノトリによってもたらされる恵みを活用して、市のブランド価値の向上を図るための取り組みを行っています。また、コウノトリを保護するとともにコウノトリと共生する豊かな雲南市にしていくため「雲南市コウノトリの保護及び共生に関する条例」を制定しています。

コウノトリを市の象徴（シンボル）として明確に位置付けることで、市民の愛着と誇りを醸成し、豊かな自然環境の保全とコウノトリと共生するまちづくりをさらに進めています。

以上の理由により、雲南市ではコウノトリを市の鳥に指定したいと考えています。



《参考》 コウノトリに関する計画等の策定状況

● “幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョン

(平成 31 年 3 月策定、令和 6 年 3 月改訂)

【ビジョンの目的】

市内外の共感と協力を得ながらコウノトリが継続的に営巣できる自然豊かな環境づくりに取り組み、コウノトリによってもたらされる恵みを活用して、雲南市総合計画に定めるまちづくりの基本理念「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を実現していくとともに、雲南市のブランド価値の向上を図ります。

【基本方針】

“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくり

1. コウノトリが継続的に営巣できる豊かな環境づくり
2. コウノトリがもたらす恵みの好循環
3. 継続的な活動を支える仕組みづくり

● “幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりアクションプラン

(前期：令和 2 年 2 月策定、後期：令和 6 年 3 月策定)

【アクションプランの概要】

特別天然記念物であるコウノトリを保護するための基本的な取組みとして、専門機関や関係団体の指導及び協力の下で、営巣時の観察や足環装着を実施します。また、自然環境の保全や観察ルールの周知、水辺環境の整備などにより、コウノトリが安全に生息できる環境づくりに取り組みます。また、コウノトリの愛称募集を継続します。有害鳥獣対策に関しては、関係団体等と今後とも慎重に検討していきます。

このアクションプランを着実に実施するため、各所管課等と連絡調整をしながら事業の進行を管理します。

● 雲南市コウノトリの保護及び共生に関する条例

(令和 5 年 3 月施行)

【条例の目的・内容】

コウノトリが雲南市に飛来、繁殖しやすいよう保護し、コウノトリが生息できる豊かな自然環境づくりに取り組むことにより、コウノトリと共生する雲南市を継承していきます。

1. コウノトリとの共生を続けるための取り組み
2. コウノトリの営巣地周辺への立ち入りの規制
3. コウノトリの観察・撮影等をするときの義務